

関係人口のつくり方を学ぶ！

参加者
再訪率80%

田舎留学プロジェクトに学ぶ 若者と地域のつながりづくり

開催日 令和8年11月13日(金) 13:30-17:30

会場 地域活性化センターorオンライン(Zoom)

人口約7,000人の町、南伊豆に
大学生が活力を生み出す

必見！！あなたにもできる！

過疎に悩む
自治体職員

社会や地域課題に
貢献したい
若者・大学生

地域との連携や
人材育成に取り組みたい
大学・教育機関の方



主任講師

三井 大輝 氏

株式会社まめたいず 代表取締役
田舎留学プロジェクト運営局 設立者
現役大学生でありながら、
関係人口創出に尽力



特別講師

箕浦 龍一 氏

(一財) 地域活性化センター シニアフェロー
テレワーク・ワーケーション官民推進協議会
(観光庁) 初代会長
立教大学特任教授



2003年、東京都生まれ。現在、早稲田大学政治経済学部在学中。2023年に教育支援団体「びよーんど」を設立。静岡県南伊豆町における「田舎留学プロジェクト」や、愛媛県今治市における「今バリ頑張る若者チーム」をはじめとし、学生を主体とした地方創生事業の立ち上げや推進に尽力。

元総務省職員。総務省時代にはオフィス改革やワークスタイル変革、若手の人材育成に取り組み、2018年の人事院総裁賞(職域部門)を受賞。ワーケーションの全国普及を目指し、ワーケーション自治体協議会の設立(2019)を仕掛けた。(一社)日本ワーケーション協会の特別顧問も務める。

参加費用 一般 15,000円 学生 / 特別参加者 5,000円

<キャンセルの取り扱い> 開催日の4営業日前までに欠席の連絡がなかった場合、参加費用の返金は出来ません。

※交流会は別途費用(1,000円程度)を頂戴します。

13:30-13:40	● 開講式
13:40-14:30	● 講義① 箕浦 龍一 氏 関係人口・ワーケーションの 概論
14:30-15:30	● 講義② 三井 大輝 氏 田舎留学プロジェクト事務局の 取り組みについて
15:30-16:10	● 事例紹介 南伊豆町担当者
16:20-17:20	● 講師による質疑応答・ パネルディスカッション
17:20-17:30	● 閉校式



田舎留学プロジェクトの概要

一時的な観光ではなく、町に継続して関わる「関係人口」を増やし、過疎化が進む町の活力を取り戻すことを目的として、早稲田大学の学生の発案によって始まった、静岡県南伊豆町と大学生による共同プロジェクト。

進学で若者が流出してしまう町の課題に対し、「住ま
ずとも、まちの一員に」をコンセプトに関係人口の創出を目指す。

主な活動は、夏と春の滞在プログラム。
首都圏の学生たちが農業ボランティアや学校での交流授業（小中学校での出前授業）、地域イベントの企画などを通じて町民と深く関わります。

参加者の8割が再訪するなど、確かな繋がりを構築。
累計来町者数は1000人を超え、学生と地域双方に活力を与える新しい挑戦として注目されている。



学びのポイント



学生視点からの政策提案と
持続可能な「**関係人口**」の
仕組み作りを学べる



プロジェクトの「**構想・**
運営・受入」の**全プロセス**
を一気通貫で聞ける



大学生や若者の「**社会貢**
献したい」という**意欲へ**
の応え方を学べる



若者・受入側**両者の視点**
を学べる

こんな人におすすめ

自治体職員

- ・持続的な「**関係人口**」のつくり方がわからない
- ・若者が「なぜ来ないのか」「何がネックなのか」が分からない
- ・イベントをやっても「その日だけ」で終わる
- ・学生が卒業すると関係が途切れてしまう
- ・人口減少に伴う課題を解決したい

どなたでも参加できます

若者・大学生

- ・社会や地域課題解決へ貢献したい

教育機関

- ・地域との連携方法が知りたい
- ・社会に貢献する人材を育成する事例を知りたい



お問い合わせ先

お気軽に
ご相談ください！

一般財団法人地域活性化センター セミナー統括課

☎ 03-5202-6133

✉ seminar@jcrd.jp

申し込みにあたって

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。
地域活性化センターのホームページ、
または右の二次元コードからお申込みください。

主催 | (一財) 地域活性化センター

